

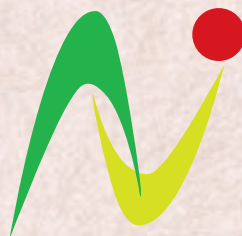
なかがわ

広報

2017. 4



町のイメージキャラクター
「なかちゃん」



No.139

- 平成29年度那珂川町予算 2
- 馬頭西小学校が馬頭小学校に統合します 5
- ホースヘッズ村海外体験学習報告 6
- 平成29年度職員配置一覧 10
- 卒業おめでとう 13
- 保育園4園・幼稚園2園が閉園 14

楽しかった思い出とともに
小川幼稚園閉園式



広重生誕220年記念 春季特別展

「広重と行く東海道の旅 - 弥次さん喜多さんも同行中!-」



第139回

画面に大きく描かれた藁葺き屋根の小屋は、^{わらぶき} 藁葺き屋根の小屋は、^{まりこ} 鞠子宿の茶店です。看板には、「名ぶつとろ汁」「おちゃづけ」「酒さかな」などと書かれています。



「東海道五拾三次之内 鞠子 名物茶屋」
歌川広重 当館蔵

東海道20番目の宿駅「鞠子」は山間の小さな宿場で、とろろ汁が有名でした。店の中では二人の旅人が縁台に腰掛けて食事の真っ最中。この二人もとろろ汁を食べているのでしょうか。

十返舎一九の滑稽本『東海道中膝栗毛』には、鞠子でわか雨に見舞われた弥次さんと喜多さんが茶店に駆け込み、とろろ汁を注文する場面がでています。その店の女房の姿は、ぼうぼう髪で乳飲み子を背負っているというものでしたが、広重の絵にもそのような姿の女性が描かれています。

物語では、とろろ汁を作るため、店の亭主が芋を摺りますが、女房のすり鉢の持ち方が悪いと「ひょうたくれ(馬鹿者)」よわばりします。それを聞いた女房は、「おまえがひょうたくれだ」と怒り、それに対して亭主がすりこ木で一発食らわせ、女房はすり鉢を投げつけて大げんか。とろろはそこら中に散らばり、亭主がすりこ木を振り回しながら立ち上がると、とろろに滑ってすってんころりん。女房も滑って転び、けんかの仲裁に入った向かいのおかみさんも滑って転び、三人とも体じゅうとろろだらけになってしまいます。

この騒動で、結局弥次さんと喜多さんはとろろ汁を食べることは出来ませんでした。この絵ではなごやかなムードの中、男たちが食事を楽しんでいます。広重は、『東海道中膝栗毛』では食べられなかったとろろ汁を、この作品で弥次さん喜多さんに食べさせてあげているでしょう。

広重の東海道をテーマとした作品には、弥次さん喜多さんらしき人が時折登場します。当時の人々はこのような作品から二人の珍道中を思い浮かべ、自分も東海道を旅しているような気分になったことでしょう。展覧会で

は広重の代表作「東海道五拾三次之内」をはじめ、東海道に関連する作品を展示します。皆さんも弥次さん喜多さんを探しながら、江戸時代の旅をお楽しみください。

馬頭広重美術館 主任学芸員 長井 裕子

【会期】

前期 4月21日(金)～5月21日(日)

後期 5月26日(金)～6月25日(日)

【ミュージアムトーク(展示解説)】

前期 4月22日(土) 午後1時30分～ 当館学芸員

後期 5月27日(土) 午後1時30分～ 当館学芸員

【開館時間】

午前9時30分より午後5時まで

(但し入館は4時30分まで)

【入館料】

大人 700円(630円)

高・大学生 400円(360円)

※()は20名以上の団体料金。

※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料。

※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額

【花の風祭り】

5月3日、4日、5日は美術館入口で文化協会茶道部による呈茶サービスを行います。

平成28年度 那珂川町観光写真コンテスト受賞コンテスト受賞作品



特別賞「春模様」

撮影者：岡 典子さん(北向田) 撮影地：若鮎大橋下



観光協会長賞「お花見」

撮影者：江川 清さん(宇都宮市) 撮影地：馬頭公園

